

市報 おおねじめ

昭和51年1月1日 No. 276

編集と発行 鹿兒島県肝属郡大根占町役場
総務課文書広報係
印刷 09942-0511~0515
新生社印刷 099443-2238

昭和50年12月1日現在推計人口
町の人口 男 4,632人 女 5,434人 計 10,066人
11月1日より14人増



あけまして
おめでとーございます



新春を迎えて

町長 坂元左武郎



昭和五十一年の新春を皆様と共に迎えることができますことは何よりの喜びと存じます。

未曾有の不況となり五十年後半から政府は不況対策にやっきとなっておりませんが景気回復のキザシはこの片田舎にはなかなか届かないようです。

このような不況で地方財政も危機に見舞れておりますがその中で大根占勤労福祉センター、町中央公民館の建設など五十年計画した公共事業等が計画通り施行できましたことは町民各位の御協力の賜と感謝申し上げます。

五十一年度の地方財政は新聞などで御承知の通り極めて深刻な状況になることが予想されます。そのために地方税法の改正も行われるであろうし、国の財政投融資についても各団体の力を結集して地方財政危機乗り切りのためその解決に微力を捧げてまいりたいと存じます。

経費の節減に努力しておりますがこれにも限度があり住民の需要を満たすことに最大の努力をはらってまいりますが五十一年度は重点的にしぼってまいりたいと存じます。

今年一月早々に広域消防署の位置の決定を急がねばなりませんし、また農業振興のため合併以来混同と

としていた「なんぐう農協」も農民のよりどころでありますので行政の面から農協の役員と手をとって不信感の払いでいなければならぬと存じます。

五十一年度は五十年にもまして厳しい財政の中で各種の重要問題が山積しているように思われます。

これらの問題に対処するために職員一同愛郷心に徹すると共に地方公共団体を愛し全力を結集し住民福祉の向上のために各段の努力をいたす覚悟であります。所感の一端を申し述べ新年の御挨拶といたします。

たばこは町内で買ひましょう

出張やご旅行にも
町内で買って持って
行きましょう

年頭にあたって

町議会議長 皆倉松二



町民の皆様お元気で五十一年の新春をお迎えなさいましたことと存じ謹んで新春のお慶びを申し上げます。

正月は冥土の旅の一里塚めでたくもありめでたくもなしと詠んだ歌人がありますが、

と詠んだ歌人がありますが、

子どもたちの健全な成長を

町教育長 新福国隆



謹んで新年のお喜びを申し上げます。

昭和五十年度は、激しく揺れ動く社会情勢の中で教育界もまた独自の問題で、全国的にも、全国的にも大きく揺れた年であったように思います。

しかし社会や教育界がどのような様相を呈しようとも教育のことは片時もゆるがせにできない問題とあります。

今日、学校教育、社会教育で取り組むべき課題が数多くありますが、なかでも子どもたちをどう健全に育てるかということが中心の課題になります。

とところで子どもたちが人間

二家庭で人として必要な「しつけ」を受ける（家庭は子どもにとって主生活の場です）。

三社会（部落や地域）で年々の生活で人と人とのつき合いの基本的なルールを身につける。

△子どもたちの健全な成長を急ぎながら迎春のことばといたします。

△子どもたちの健全な成長を急ぎながら迎春のことばといたします。

△子どもたちの健全な成長を急ぎながら迎春のことばといたします。

△子どもたちの健全な成長を急ぎながら迎春のことばといたします。

手をとりあい 明るい町づくりに

町婦人会長 川辺タチ



厚であります、できるだけ議会としての機能を発揮して消費的経費削減の方向を探り建設的経費の増加を計り町村自治の水準を高めていくことに自身の努力を傾けたいと存じます。

町民の皆様も健康に留意なさいます。明るい豊かな家庭を作り連帯感と共同意識の強い町づくりのため御協力願ひ御意見等賜りますようお願い申し上げます。

使って山野を駆けめぐり目的の地にたどりつく、とても風変わりな競技です。あなたの職場、団体、家族でもどしどし参加してみませんか！

家族ぐるみで参加を オリエンテーリング大会

世界的に活動になりまし
たオリエン
テーリングが、
本町でも今年
で四回目の大
会が来る一月
二十五日（日）
神川地区（全
長八キロメー
トルコース）
で実施されま
す。

この大会は、
地図と磁石を
使って山野を駆けめぐり目的の地にたどりつく、とても風変わりな競技です。あなたの職場、団体、家族でもどしどし参加してみませんか！

お知らせ

事故証明等は
自動車安全運転
センターで

昭和五十一年一月一日より

これまで警察署でこなっていた交通事故証明書の発行、運転経歴証書の発行、免許停止直前の点数通知等の業務は昭和五十一年一月一日から特殊法人自動車安全運転センター鹿兒島県事務所で行ないます。

▽交通事故証明書の発行

自分の運転経歴について、無事故、無違反の証明の必要な方や、交通違反の現在の点数を知りたい方などに本人の申請により証明書を発行します。申し込みの方法は交通事故証明書の場合同様です。申請書は警察署、派出所、駐在所にあります。

証明書の必要な方は、申請書（郵便振替用紙に印刷したもの）に手数料を添えて最寄りの郵便局から申込んでください。申請書は警察署、派出所、駐在所、損害保険会社、農業協同組合等にあります。証明書は郵便でお届けします。（センター事務所直接申し込んだ方には窓口でお渡しします。）

▽免許停止直前の点数通知
交通違反などの点数が運転免許の停止処分を受ける直前の点数になった方にセンター事務所から郵便でお知らせします。

▽センター鹿兒島県事務所は
鹿兒島市山下町十三番五十一号、県交通安全協会館内
くわしいことは、警察署、又は派出所、駐在所でおたずねください。

五十一年度以降の
稲作転換対策に
ついて

昭和五十年度まで行なわれてきた稲作転換対策（休耕田）事業は、ひきつづき昭和五十三年度まで三ヶ年間行なわれることになりました。五十一年度からは新たに名称を水田総合利用（転作）事業と変更、実施内容も次のとおり今までの稲作転換対策（休耕田）とは少し変わります。

▽対象水田
原則として昭和四十四年度に水稲が作付されたあつた水田であること。

▽奨励補助金の額
今までの数量配分から面積配分になります。

（一）一般奨励作物転作
飼料作物、野菜、大豆、麦、そば等

（例）全国平均収量十アール
当り四万円

（二）特認作物転作
落花生

（例）全国平均収量十アール
当り三万五千円

（三）集団転作加算
十アール当り五千元
（大豆にあつては一万円）
▽対象作物

税務署だより

▽税の相談はお気軽に

本年もまた、所得税の確定申告が近づいてきました。記帳や税金の計算などについて分からないところがありましたら、お気軽に税務所に御相談ください。

☎〇九九四四（二）三二二八

▽還付申告は早めに

サラリーマンの方など確定申告をしなくてもよい方でも災害を受けたり、多額の医療費を支払ったり、住宅を新築した方などは確定申告を提出すれば税金が返ってくる場合があります。

この還付を受けるための申告は一月から受付けていますからなるべく早くお済ませください。

不動産無料相談所の開設

転作物については食用作物という前提があり、今までの永年性の林木、養魚池、農業用施設等などは該当しなくなるようです。

くわしくは役場経済課へお問い合わせください。

県土木建築課と県宅地建物取引業協会では住民の不動産全般についての悩みを解決するため次により無料相談所を開設いたします。

お気軽に御利用ください。

一日時 二月十五日（日）
午前十時から午後四時まで
二場所 鹿屋商工会議所
一相談員 弁護士、税理士、不動産鑑定士、土地家屋調査士、県土木建築課、県宅地建物取引業協会

▽法定資料の提出は一月中に
「法定資料」とは、法律で税務署に提出するように決められている源泉徴収票や報酬料金等の支払調書などのことです。

この提出期限は一月三十一日です。

戸籍に関する情報は
ホームページ上では
掲載していません

善意の話題

▽すずしろの里へ

- 山ノ口の下トミエさんから 金一封
- 神川中の梶原スミさんから 金一封
- 神二区の大迫保子さんから 金一封
- 毛下の安田ミエ子さんから 金一封
- 山ノ口の中村清二さんから 金一封
- 塩屋の本金二男さんから 金一封

▼町社協へ

※チリはきまいった収集日の朝出ししましょう!!